

ACT!



MEDECINS SANS FRONTIERES
国境なき医師団



1999年
ノーベル平和賞受賞

支援者さまと国境なき医師団(MSF)をつなぐニュースレター

2023年6月号

長引く被害 洪水後の パキスタンに支援を!

MSFの給水タンクから水をくんで、自分たちのテントに運ぶ、避難民キャンプに暮らすきょうだい。

© Zahra Shoukat/MSF



2022年8月に発生し、国土の3分の1が水没したと言われるパキスタン洪水。皆さまの日頃からのご寄付により、国境なき医師団(MSF)は緊急チームを編成し、直ちに現地に向かうことができました。皆さまから多大なるご支援をいただきましたことに、心よりお礼申し上げます。今号では、MSFの被災地での緊急援助活動と長期化する被害についてお伝えいたします。



パキスタンって
どんな国?

- 人口 ● 2億2090万人※(世界5位)
- 国土 ● 79.6万km²※(日本の約2倍)
- 宗教 ● イスラム教(国教)※
- 言語 ● ウルドゥー語、英語※
- 主要産業 ● 農業、繊維業※
- その他 ● チャイ(ミルク入りの紅茶)をよく飲む。スポーツはクリケットが人気。

※外務省「パキスタン基礎データ」

急増した、マラリアや栄養失調。 清潔な水の供給で子どもたちを守る！

北部に8000メートル級の山々がそびえる自然豊かな国、パキスタン。2022年の雨期（6～8月）は例年よりも雨量が多く、8月、中部を中心に大洪水に見舞われました。近年の気候変動の影響が懸念されています。

MSFは被災した地域で緊急援助活動を開始。道路が寸断され、病院に行くことができない人びとのために移動診療を行いました。開始直後から患者さんは後を絶たず、マラリアや栄養失調、デング熱、呼吸器感染症などの治療を9万5940人以上の人びとに行いました※¹。

「私たちは2カ月以上、道端で生活しています。村は全て水浸しになってしまったのです」と、被災した男性は話します。「飲み水も生活用水も汚い水しか手に入りません」。MSFは、4億6500万リットルの清潔な飲料水を供給したほか、衛生用品、テント、蚊帳な

どが入った救援物資を4万4800セット以上配布しました※¹。

人びとに寄り添う支援を

洪水後のよどんだ水から大量の蚊が発生したため、蚊を媒介する

マラリアが深刻な問題です。移動診療所には発熱の症状を訴える患者さんがひっきりなしにやって来ます。マラリアは時に死に至る恐れがあるため、一刻も早い治療が必要です。



© Asuka Kitahara

「マラリアか」と急ぎ、診療所へ

高熱が出たため、父親に急いでMSFの移動診療所に連れて来られた女の子。重症化すると命を

落とす恐れもあるため、指先から採血するマラリアの検査を受けています。



© Zahra Shoukat/MSF

洪水で道が寸断され、病院に行けなくなった人びとのためにボートで診療に向かうMSFのスタッフ。

また、洪水で家畜が流され、土地も荒れて作物が育たないため、今後の栄養失調も懸念されています。洪水で汚れた飲料水を飲むと下痢になり、子どもの命をさらに脅かします。そのため、MSFは栄養治療に加えて安全な水の供給にも力を入れています。

いまだ避難生活を送る人が多くいる中、今年も雨期に差し掛かっています。MSFは地域の人びとに寄り添いながら活動を続けていきます。



© Zahra Shoukat/MSF

移動診療所の待合室で診察を待つ親子。



© Asim Hafeez for MSF

被災した人びとに、衛生用品や毛布などの衛生キットを配布した。

MSFスタッフの声

力になりたくて、 緊急援助に参加

アキーラ (アウトリーチ※²・カウンセラー)

8月17日、私の村に水が押し寄せ、家族とすぐに高台に避難しなければなりませんでした。水がどんどん増えて、牛も家も農場も全て流されていくのを目の当たりにし、とても悲しかったです。

最初は家族と避難生活を送っていましたが、多くの人びとが援助を必要としていることを知り、MSFから緊急対応への依頼の電話を受けた時は「はい」と、答えずにはいられませんでした。

早速、調査で村々を訪れたところ、避難所もなく、野ざらしで暮らしている人びとがいました。食料も清潔な飲料水も不足している状態でした。すみかを失い、必要な援助も受けられていない人びとの心の痛みを感じました。

MSFは緊急援助活動を開始し、さまざまな地域を回りながら援助物資や清潔な飲料水の供給、移動診療を行いました。自分のように家を失った人びとの力になれるよう、私はMSFで援助活動を続けていきます。

※² ヘキ地など、十分な医療アクセスのない場所に出向き医療を提供する活動



© MSF

二の腕の太さを測り、子どもの栄養失調の度合いを確認するアキーラ(写真左)

例えば、皆さまからのご寄付でできること

現地に援助を届けられるのは、皆さまお一人お一人のおかげです。例えばご寄付は以下のように変わります。※外国為替による変動があります。

清潔な水



5000円で610人に
1週間分の清潔な水を提供できます。

汚れた水を飲むと、下痢を起こしコレラなどにかかりやすくなります。子どもの命を守るために清潔な水が必要です。

栄養治療食



1万円で**重度栄養失調**
の子どもたちに栄養治療食
280食を提供できます。

洪水で作物が育たず、子どもの栄養失調が深刻になっています。成長に必要な栄養素が含まれた栄養治療食で治療ができます。

マラリア治療



2万円で**子どもの**
マラリア治療を270回
行うことができます。

5歳未満の子どもがマラリアにかかると重症化し命を落とすこともあるため、いち早い治療が必要です。

シェルター資材



4万円で**簡易シェルター**
用の資材を12家族に
提供できます。

雨を防ぎ、避難生活を送ることができる資材に含まれるビニールシートは、一部損壊した建物の雨よけにも使用できます。

NEWS

「トルコ・シリア地震」活動ご報告

2月6日の早朝に起きた、トルコ・シリア地震では、建物が倒壊し、多くの人びとの命が奪われました。MSFは震災直後から地元の援助団体と協働して、被災した地域で活動を開始。病院で患者さんの治療に当たったり、

家を失った人びとに毛布や水などの物資を配布したりしました。苦境にある人びとのために即座に対応できたのは、ほかならぬ皆さまのおかげです。右の二次元コードから最新情報をご確認ください。



© Igor Barbero/MSF



スマートフォンから

私がMSFを応援する理由

皆さまから「国境なき医師団(MSF)の支援者って、他にどんな人がいるの？」というご質問をよくいただきます。そこでこのコーナーでは、皆さまのお声をご紹介します。“仲間”の思いを、ぜひ感じてください。

誰もが持っている「力になりたい」思い。それが集まれば大きな力になる

山本誠一郎様(埼玉県)

教員をしていた頃に教科書でMSFを知り、20年弱、寄付を続けています。もっと力になりたいと思い、2005年に音楽会を開いて会場で募金活動をしたところ、多くの方が賛同してくださいました。その時気づいたのは、皆「力になりたい」と思っていて、誰かの「この指止まれ」という声さえあれば、思いが集まること。MSFを粘り強く応援するため、個人でも寄付を続けつつ、2009年からは毎年、音楽会の収益を寄付しています。今年も皆さんの思いを大きな力に変えてMSFに届ける予定です。

音楽会の詳細は、「ピースフル・コンサート越谷」でウェブ検索してご確認ください。
山本様が代表兼指揮を担当されています。



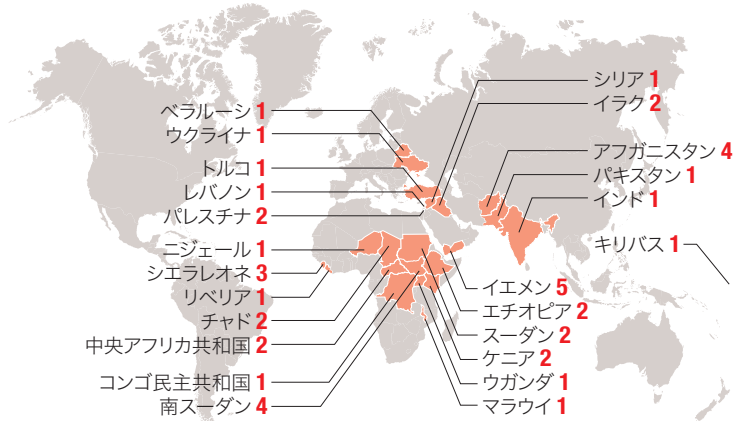
現場の支えになっっているのは金額ではなく応援の思い

浅田良子様(福岡県)

市内に出掛けたある日、街頭キャンペーン*スタッフからMSFの活動について話を聞きました。そのときいただいたリーフレットに載っていた、大変な思いをされている患者さんの声が忘れられず、MSFの応援を決めました。実はそれまでは、寄付する物資の量や金額が重要で、私の寄付なんて、と思っていました。でもMSFに寄付を始めて知ったのは、金額の多寡ではなく、応援や心遣いが現場の人たちの心の支えになっていること。いまは金額ではなく気持ちを大事に、寄付を続けています。

※全国各地の街頭や商業施設などで、世界各地のMSFの医療・人道援助活動を紹介し、ご寄付を募る活動のこと

日本からのスタッフ派遣状況 24の国と地域43人(2023年4月3日現在)



MSF連絡帳

ぜひご来場ください!

エンドレスジャーニー展・広島(入場無料)

7月3日～9日、広島市にて世界の難民・移民の現状を伝える企画展を開催します。テント式の病院や、援助活動を支える四輪駆動車、現地で設置するトイレも再現。詩人・谷川俊太郎氏がMSFに寄せた作品も展示します。

スマートフォンから



2022年度版の活動報告書はウェブサイトから!

2022年度のMSF日本の財務状況・活動報告は6月中旬にMSFウェブサイトで公開を予定しています。ぜひご覧ください。

スマートフォンから



ニュース
レター **ACT!** 2023年
6月号

発行元 特定非営利活動法人 国境なき医師団日本
〒162-0045 東京都新宿区馬場下町1-1 FORECAST早稲田FIRST 3階

寄付・ご登録情報に関するお問い合わせ

TEL **0120-999-199** 通話料無料

平日9:00～18:00 / 土日祝日、年末年始休業

※ご住所など、ご登録の情報についての変更や、「毎月の寄付」の変更は上記までご連絡いただくか、マイページでお手続きください。



※2023年4月上旬の情報を基にしています。

最新の情報は国境なき医師団ウェブサイトをご覧ください。

マイページ参照は
スマートフォンから

遺贈に関するご相談・お問い合わせ

TEL **03-5286-6430** 担当者直通

平日10:00～17:00 / 担当: 荻野、今尾

国境なき医師団ウェブサイト **www.msf.or.jp**

